


# 五霞町(ごかまち)

	町章	〒 306-0392	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	〈住所〉 猿島郡五霞町大字小福田1162番地1 〈TEL〉 0280-84-1111 〈FAX〉 0280-84-1478 〈HP〉 <a href="http://www.town.goka.lg.jp/">http://www.town.goka.lg.jp/</a> 〈e-mail〉 mail@town.goka.lg.jp	近郊整備	退職手当 消防賞しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿 葬場 ごみ コミュニティセンター 運動場 消防 養護老人ホーム	法適用(上水) 法非適用(公共下水 特定環境下水 農業集落排水)	
類型	Ⅱ-1	地方公共団体コード	085421	面積	23.11 km <sup>2</sup>

## <行政組織>

### ①長等(平成27年5月1日現在)

長	そめや もりお 染谷 森雄 (68歳)	任期	平成31年4月30日
副町長	田神 文明	就任回数	3 期目

### ②議会(平成27年5月15日現在)

議長	宇野 進一	副議長	大久保 帝二
任期	平成31年4月29日	条例定数	10 人
党派別	無所属10人	現議員数	10 人

### ③職員数(平成26年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
98	82	72	16
一般行政職の平均給料月額	3,129 百円	ラスパイレス指数	97.3
地域手当補正後ラス指数			97.3
全職員数の推移	平成23年4月1日	平成24年4月1日	平成25年4月1日
	97	101	98

### ④機構図(平成27年4月1日現在)

<町長>-<副町長>  
 総務課  
 政策財務課  
 町民税務課  
 健康福祉課  
 上下水道課  
 産業課  
 都市建設課  
 生活安全課

<会計管理者>  
 会計室

<教育長>  
 教育委員会事務局

<議会>  
 議会事務局

<行政委員会>  
 農業委員会  
 選挙管理委員会  
 監査委員  
 固定資産評価審査委員会

## <概要>

### ①沿革

平成8年6月1日 町制施行

### ②地勢・風土等

首都圏50km、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端に位置し、四方を河川に囲まれており、主産業は米作中心の農業であるが、道の駅「ごか」の利用促進と、地理的条件を活かした都市近郊型農業への転換を図っている。昭和30年代の工業誘致により、産業構造が一変し、就労機会の確保と財政への寄与率が非常に高い。第5次総合計画では、協働のまちづくりなどを基本姿勢に掲げ、「人がきらめき だれもが安心・安全に暮らせるまち 五霞」の実現をめざしている。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成27年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	5,174	4,972	4,719	4,477
	女	5,044	4,901	4,691	4,381
	合計	10,218	9,873	9,410	8,858
世帯数	2,802	2,865	2,927	3,028	

### ④平成27年3月2日現在登録者数(人)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	3,866	3,814	7,680	

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成24年度)

市町村内総生産	877 億円	就業者1人当り	10,124 千円
住民所得	377 億円	人口1人当り	4,102 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成24年度)	就業人口(平成22年国調)
第1次	1,298 1.5 %	237 4.8 %
第2次	56,803 63.2 %	1,893 38.6 %
第3次	29,593 34.6 %	2,363 48.2 %
総額・総数	87,660 -	4,900 -

### ③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	786	51	785
製造業 (平成25年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H25.1.1~12.31)
	56	4,195	184,695
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	71	573	13,746

### ④特産物

米、八つ頭

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成24年度決算	平成25年度決算	増減率
歳入	4,993,695	4,161,456	△ 16.7
歳出	4,641,966	3,804,747	△ 18.0
形式収支	351,729	356,709	-
実質収支	295,596	325,679	-
単年度収支	39,498	30,083	-
実質単年度収支	343,281	231,986	-

④市町村税の状況(平成25年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	450,218 ( 21.2 )	415,834 ( 20.4 )	92.4 [91.5]
市町村民税・法人 (構成比)	322,974 ( 15.2 )	320,209 ( 15.7 )	99.1 [98.1]
固定資産税 (構成比)	1,235,419 ( 58.2 )	1,193,996 ( 58.5 )	96.6 [91.3]
市町村税合計 (国保除く)	2,122,879	2,042,199	96.2 [92.4]

②主な歳入・歳出(平成25年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	<b>4,161</b>	<b>-</b>	<b>△ 833</b>	<b>△ 16.7</b>
地方税	2,042	49.1	△ 35	△ 1.7
地方交付税	574	13.8	△ 15	△ 2.5
国庫支出金	264	6.3	54	25.7
地方債	315	7.6	109	52.9
うち臨財債費	299	7.2	-	-
その他	966	23.2	-	-
うち繰入金	38	0.9	-	-
<b>歳出</b>	<b>3,805</b>	<b>-</b>	<b>△ 837</b>	<b>△ 18.0</b>
義務的経費	1,750	46.0	△ 185	△ 9.6
人件費	780	20.5	△ 25	△ 3.1
扶助費	497	13.1	12	2.5
公債費	473	12.4	△ 172	△ 26.7
投資的経費	221	5.8	-	-
普通建設事業費	221	5.8	76	52.4
うち補助	79	2.1	27	51.9
うち単独	134	3.5	47	54.0
その他の経費	1,834	48.2	-	-
うち繰出金	566	14.9	-	-

③主要指標(平成25年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (15.00)
連結実質赤字比率	- % (20.00)
実質公債費比率	14.5 % ( 25.0 ) [9.0]
将来負担比率	48.6 % ( 350.0 ) [42.9]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成24年度～平成26年度)	0.796	[0.696]
経常収支比率	87.1 %	[88.2]
標準財政規模(平成26年度)	2,958 百万円	[15,097]
地方債現在高(A)	3,683 百万円	[23,121]
債務負担行為支出予定額(B)	924 百万円	[2,998]
積立金現在高(C)	2,266 百万円	[7,686]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	2,341 百万円	[18,433]

※1 ( )は早期健全化基準, [ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

<公共施設整備状況>(平成25年度) ※1は平成26年度

小学校 ※1	2 校	プール	1 か所
中学校 ※1	1 校	児童館	2 か所
幼稚園 ※1	2 園	老人福祉施設	6 か所
保育所 ※1	2 か所	病院・一般診療所	4 か所
図書館	0 か所	道路改良率	5.7 %
公営住宅	0 戸	道路舗装率	78.9 %
公民館等	1 か所	上水道等普及率	99.3 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	99.9 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
圏央道IC周辺地 域整備事業	H27 ～ H31	圏央道五霞インターチェンジ周辺地区 土地区画整理事業。 約37.1ha	200 (H27)
町道5号線道路 整備事業	H26 ～ H28	圏央道五霞インターチェンジ周辺地区 の開発を推進するため、町道5号線の 用地買収、工事を行う。	150 (H27)
地域公共交通シ ステム構築事業	H25 ～	町の公共交通システム構築のため、 新規バス実証実験の結果を検証し、 本格運行への検討を行う。	12 (H27)
公民館施設管理 事業	H26 ～ H27	五霞町中央公民館本館の耐震工事 及び講堂の天井改修工事。	213 (H27)
まちづくり推進事 業	H26 ～	地域づくりを担う人材育成を図るた め、地域づくり講座やサロンを開催す る。	5 (H27)

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・定住人口確保の推進
- ・少子高齢化社会への対応
- ・地域コミュニティの推進
- ・財政健全化の推進
- ・行財政改革の推進

<特色ある行政>

- ・定住化促進
- ・圏央道IC周辺開発の推進
- ・公共交通確保
- ・子育て支援の充実